

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（第一学習社 精選言語文化

教科 国語

の目標：国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

科目 言語文化

の目標：国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			証・ 聞	書 読					
1 学期	古文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	伊勢物語 話の中で和歌が果たしている役割を押しえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 現代語訳をする際に重要な語句や文法事項を理解する。	○	○	・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテキストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	○	○	○	9
	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	夢十夜 夏目漱石 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	○	○	・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査					○	○		1
	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	城の崎にて（志賀直哉） 志賀直哉について理解する。 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。	○	○	・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	8
定期考査					○	○		1	
2 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	空き缶 林京子 現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取る	○	○	・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1
	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	空き缶 林京子 現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取る	○	○	・やや長い小説を粘り強く読み、構成を整理しようとしている。 ・粘り強く登場人物の心情を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	15
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	故事成語「狐借虎威」 漢文の訓詁に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	○	○	・伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。 ・「然りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	1
3 学期	詩 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	I was born 吉野 弘 散文詩について理解する 散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。	○	○	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。	○	○	○	10
	漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	故事成語「蛇足」 漢文の訓詁に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	○	○	・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。 ・孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		合計 70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 H組～E組
 使用教科書：（わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮・地総705））
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、諸資料等を用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関する特色などを活用して多面的に考察したり、現代社会での課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史の学習を通して、よりよい社会の実現に向けて現代社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、様々な学習を通して、日本や世界の地理や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができるようにする。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 1,2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球 2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題 3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき 4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システム（GIS）のしくみと使い方 ・教材 教科書、地図帳、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>地図とGISの活用 【知識及び技能】 球面上の世界の位置や時刻の表し方や国家間の結びつき方、様々な地図の特徴を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 球体であることの特徴を踏まえ、位置や時刻適切に表すことができる。国家間の結びつきについて、社会や時代の変化を踏まえて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの状況について興味を持ち、時差や様々な地図が日常生活や経済活動へどのように影響を考えているかを考え、各課題に対して主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
定期考査（1学期中間）			○	○		1
<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取らせる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取らせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現させる。世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究する。</p>	<p>・指導事項 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2,3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア 2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4,5 経済成長 中国 6,7 工業化 タイ・ベトナム ・教材 教科書、地図帳、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 地形や気候などの特徴を理解し、多様な資料から必要な情報を適切に読み取ることができる。各産業の特色を理解し、様々な資料から経済活動の発展を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候と人々の生活文化との関係性を様々な資料を用いて適切に考察し、表現できる。世界の産業の特色について、自然環境や生活文化との関係を考察し、まとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形・気候と生活文化・産業とのかかわりについて、興味・関心をもって授業に臨んでいる。産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査（1学期期末）			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 H組～E組

使用教科書：（Standard 数学 I 東京書籍）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、計算式やグラフを用いて事象を数学化した
り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 計算式やグラフを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合
的・発展的に考察する力、計算式やグラフを表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に
付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断
しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の軽量、データの分析、集合の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、計算式やグラフを用いて事象を数学化した り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の軽量、データの分析、集合の計算式やグラフを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、計算式やグラフを表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	図形と計量 【知識及び技能】 鋭角の三角比やその相互関係について理解する。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。	・指導事項 鋭角、正弦、余弦、正接、相互関係 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式を証明したり、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決にそれらを活用したり、問題解決の過程を振り返り考察を深めたり評価・改善しようとしたりしている。	○	○	○	9
	定期考査		○	○		1	
1 学 期	図形と計量 【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。	・指導事項 鈍角、相互関係 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決にそれらを活用したり、問題解決の過程を振り返り考察を深めたり評価・改善しようとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1	
2 学 期	図形と計量 【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。	・指導事項 正弦定理、余弦定理 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決にそれらを活用したり、問題解決の過程を振り返り考察を深めたり評価・改善しようとしたりしている。	○	○	○	13
	定期考査		○	○		1	
2 学 期	データの分析 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図および相関係数の意味を理解し、コンピュータなどを用いて基本的な統計量を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 データについて考察し、データの特徴を調べ、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 偏差、平均値、分散、標準偏差、相関関係、相関係数 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 分散、標準偏差、散布図および相関係数の意味を理解し、コンピュータなどを用いて基本的な統計量を求めることができる。 【思考・判断・表現】 データについて考察し、データの特徴を調べ、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15

<p>特徴を調べ、批判的に考察したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。</p>		<p>問題解決にそれらを活用したり、問題解決の過程を振り返り考察を深めたり評価・改善しようとしていたりしている。</p>				
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

3 学 期	<p>集合・命題と論証</p> <p>【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題に対してその過程を振り返り、問題に粘り強く取り組む。</p>	<p>・指導事項 集合、要素、部分集合、共通部分、和集合、補集合、空集合、ド・モルガンの法則、命題、真偽、逆、裏、対偶、必要条件、十分条件</p> <p>・教材 教科書・教科書傍用問題集 プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決にそれらを活用したり、問題解決の過程を振り返り考察を深めたり評価・改善しようとしたりしている。</p>	○	○	○	16	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

年間授業計画

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 H組~ E組

使用教科書: (新編化学基礎 数研出版)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 化学基礎 の目標: 化学的な事象・現象について、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 化学的な課題を解決するための基本的な知識を身につける。 実験器具を安全・正確に扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身につけた知識を活用して、化学的な課題に取り組むことができる。 化学的な現象について知識を活用して、文章やモデル図等で表現できる。 実験結果を活用して、物質を区別したり、法則性を発見できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に粘り強く取り組むことができる。 課題や宿題を提出できるように自ら計画を立て、学習を進めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	物質の構成 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材 新編 化学基礎(数研出版) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版) 一人1台端末 Teams課題機能活用 Classnotebook活用 リードLightノート化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 元素を実験で確認する実験を計画でき、実験結果から元素を判断できる。 混合物から物質の化学的性質や物理的性質を考慮しながら純物質を分離・精製する方法を説明できる。 粒子の熱運動の様子を情報をもとにモデル図で表現し説明できる。 	○	○	○	8
			<ul style="list-style-type: none"> 原子の構成から、原子番号、陽子の数、電子の数、中性子数を求めることができる。 同位体とは何かを説明できる。 原子の電子配置を様々な表現方法で書ける。・最外殻電子数や価電子数を周期表の族から推測でき、原子の電子式を書くことができる。 イオン化エネルギー、価電子数などから周期律を発見できる。 イオンの形成理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 イオンの形成に伴うエネルギーについて説明でき、周期性を発見できる。 	○	○	○	8
	粒子の結合 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材 新編 化学基礎(数研出版) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版) 一人1台端末 Teams課題機能活用 Classnotebook活用 リードLightノート化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 金属(結晶)の性質を自由電子の性質を用い説明できる。 金属結合が起こる理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 共有結合が起こる理由と希ガスの電子配置が安定な理由に起因していることを発見できる。 共有結合できている分子を電子式や構造式で書くことができる。 分子模型を用いて分子の形を確認することができる。 分子に極性が生じることを電気陰性度と分子の形から説明できる。 	○	○	○	8
粒子の結合		<ul style="list-style-type: none"> 共有結合結晶の特徴を共有結合の性質から説明できる。 無機物質や有機化合物の特徴や用途を説明できる。 無機物質や有機化合物の特徴や用途を説明できる。 	○	○	○	4	
2 学期	物質と化学反応式 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材 新編 化学基礎(数研出版) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版) 一人1台端末 Teams課題機能活用 Classnotebook活用 リードLightノート化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対質量を相対質量で表す理由を説明できる。 粒子をまとめて取り扱う手法から物質の概念を説明できる。 物質質量を用いて質量、体積、個数を求めることができる。 物質質量を用いて濃度を求めることができる。 実験により化学反応式の係数比は物質質量比であることを発見できる。 	○	○	○	8
	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報を活用して、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】 学習方法などを調整したり、粘り強く学習に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材 新編 化学基礎(数研出版) 改訂版フォトサイエンス化学図録(数研出版) 一人1台端末 Teams課題機能活用 Classnotebook活用 リードLightノート化学基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 酸・塩基の強弱を実験結果から推測できる。 酸や塩基の定義から水素イオン濃度を求めることができる。 水素イオン濃度を用いてpHを求めることができる。 	○	○	○	8
			<ul style="list-style-type: none"> 中和反応式が書け、その係数から量的関係を求めることができる。 中和滴定で用いる実験器具の洗浄方法とその理由を説明できる。 中和滴定曲線から、pH指示薬の選定、生じる塩の液性や使用した酸や塩基を読み取ることができる。 	○	○	○	6
		<ul style="list-style-type: none"> 中和滴定を用いて食酢中の酢酸の質量パーセント濃度を求めることができる。 	○	○	○	4	

3 学 期	酸化還元反応 【知識及び技能】 課題を解決できるような知識を身につけ、 実験器具を安全、正確に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験で確認したこと、情報をを活用し て、課題解決ができる。 【主体的に学習する態度】学習方法などを 調整したり、粘り強く学習に参加できる。	・教材 新編 化学基礎 (数研出版) 改訂版フォトサイエンス化学図録 (数研出 版) ・一人1台端末 Teams課題機能活用 Classnotebook活用 リードLightノート化学基礎	・酸化還元を電子の授受で説明できる。 ・酸化還元反応における酸化剤、還元剤を用 いて判断できる。 ・酸化剤や還元剤の半反応式から酸化還元反 応式をつくることができる。また、その係 数から量的関係を求めることができる。 ・酸化還元滴定を用いて濃度未知な酸化 剤や還元剤の濃度を求めることができる。	○	○	○	8
	酸化還元反応		・イオン化傾向を用いて、金属と溶液の 組み合わせの反応が起こるか起こらない かを推測できる。 ・電池の負極、正極をイオン化傾向と 関連させて判断できる。 ・電池の起電力をイオン化傾向と関連 させて判断できる。	○	○	○	8
							合計

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎②

教科：理科 科目：生物基礎② 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 H組～ E組

使用教科書：（「生物基礎 新訂版」 実教出版）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 生物基礎② の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	DNAの構造と働きを理解し、遺伝情報がどのように伝えられるか説明できる。 遺伝子のはたらきとゲノムの意味を理解する。 DNA複製のしくみを具体的に説明できる。	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	【知識及び技能】 ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの性質や構造を科学的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	細胞分裂のしくみを理解し、遺伝情報が正しく分配されることを説明できる。 有糸分裂と減数分裂の違いを具体的に理解する。 染色体の役割や遺伝の基本を学ぶ。	第2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	【知識及び技能】 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの複製から分配までを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学期	DNAの情報をもとにタンパク質が合成されるしくみを説明できる。 遺伝子の発現調節について基本的な考え方を理解する。 タンパク質が生命活動に果たす役割を具体的に説明できる。	第2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	【知識及び技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	植物の多様な種類とその環境への適応を理解する。 世界や日本のバイオーム（自然環境の区分）について学ぶ。	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生とバイオーム	【知識及び技能】 ・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・植生の成り立ちが、林内の光環境や植物の光に対する特性、土壌の発達段階に影響を受けていることを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのような影響を与えるかを理解しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
3 学期	生態系の成り立ち、物質の循環、エネルギーの流れを説明できる。 生態系のバランスと保全の必要性を理解し、環境保護の意識を高める。	第4章 生物の多様性と生態系 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	【知識及び技能】 ・生物が多様であること、また、多様な生物が生態系内でどのようにかかわりあっているかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性を食物網や間接効果と関連付けて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生態系において、物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたとを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り (短距離走、ボール投げ、中距離走) ・農芸体操 (体操の体得)	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動に計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道 (受け身の習得)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
	C ミニバレー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・ミニバレー (技能の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳 (クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定)	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6

	<p>E 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主</p>	<p>・講義 ・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>F 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高定期考査</p>	<p>・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	6
2 学 期	<p>A 水泳</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）</p>	<p>【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	4
	<p>B 柔道</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・柔道（受け身・固め技の習得）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7
	<p>C 種目選択 バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高</p>	<p>・バドミントン・バレーボール・卓球・テニス・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7

3 学 期	<p>D ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・ソフトボール（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7
	<p>E 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主</p>	<p>・講義 ・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>A陸上</p> <p>【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切にし、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・持久走（ワークシート作り、記録測定）</p>	<p>【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	7
	<p>B バスケットボール・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的・計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする</p>	<p>・バスケットボール（技能の習得と試合） ・サッカー（技能の習得と試合）</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。</p>	○	○	○	4
	<p>C 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主</p>	<p>・講義 ・レポート作成</p>	<p>【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
							合計
	定期考査						70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：① 単位
 対象学年組：第 1 学年 組～ 組
 使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。 定期考査	・ライフステージと健康 ・思春期と健康	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	4
	・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康	【思考・判断・表現】 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	5
	・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
				○	○	
2 学期 B 健康を支える環境づくり 知識及び技能 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。 定期考査	・中高年期と健康 ・働くことと健康	【知識・技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	4
	・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策	【思考・判断・表現】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	7
	・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	【主体的に学習に取り組む態度】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
				○	○	
3 学期 【知識及び技能】 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。	・調べ学習 ・発表	【知識・技能】 国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
						35

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 H組～E組

使用教科書：（Amity English CommunicationⅡ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて日常的、社会的な話題について外国語を理解したり表現しようとするすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の学習を通して海外の文化や人々の考えを理解し世界平和に貢献しようとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 基本的文法事項を理解し、その知識を利用して英文を理解することができる。 重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。 本文の内容を把握し簡単に説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、又、授業の予習、復習時に、課題プリントやノートを利用して、授業で学んだことをもとに思考を深め自己表現につなげることができる。（課題やノート提出を期限内に行うことができる。） 	<ul style="list-style-type: none"> 英語基礎力定着に不可欠な語彙力増強を目指して行う単語テストの勉強に主体的に取り組み、成果をあげることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書						
1 学 期	Okinawa 沖縄についての英文を読み、沖縄でやってみたことや旅行で行ってみたい場所の魅力について考察し、クラスで共有したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	The History of Japanese Food 日本食の歴史についての英文を読み、古代から現代への日本食の発展について伝え合ったり、好きな食べ物について紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	Interesting Aquariums 日本のユニークな水族館についての英文を読み、知っているユニークな水族館や動物園を紹介し、その特徴や自分が好きな点について伝え合ったり説明したりできる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	15
	The Relay of Ahmed's Life 長年戦争が続く地域で起こった出来事について読み、命の価値や平和について考えを深め、考えを共有することができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	13
	定期考査								○	○		1
2 学 期	Artificial Intelligence AIについての英文を読み、ほしいと思うAIロボットについて話し合ったり、将来の人間との関係について伝え合ったり話したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	14
	The Mystery of Colors 色の持つ不思議なちからや生活の中で私たちが無意識のうちに受けている影響についての英文を読み、好きな色や色に関して調べたことについて伝え合ったりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	14
3 学 期	Street Performers Street Performersについての英文を読み、Street Performersの生活について相手に伝えたり、自分の好きなミュージシャンについて紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	15
	Finland フィンランドについての英文を読み、機内での会話を聞いたり、フィンランドの文化や商品の魅力について伝えたり紹介したりすることができる。	文法事項の理解と定着、重要語句の理解と定着 音読を通した音声面の指導	○	○	○	○	○	基本的文法事項を理解しその知識を利用して英文を理解することができる。重要表現を理解し英文の中で意味をとらえることができる。本文の内容を把握し簡単に説明することができる。家庭学習に取り組み提出物を期限までに提出することができる。単語テストに意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	14
											合計	105

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科: 家庭 科目: 家庭総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 H 組 ~ E 組

使用教科書: (家庭総合 自立・共生・創造 東京書籍)

教科 家庭総合 の目標:

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 ささまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<p>【第9章 経済生活を営む】</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解する。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生100年人生と言われる現代の中でどんな職業に就くにか、なぜ結婚、どんな子育てををするのか考えてみる。 これからの家族が多様性が尊重されると共に一人ひとりの人権がまもられることが大切なことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の事例を調べ、消費者の権利と責任を考える。 これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 人生100年時代の現在、従来の男女役割分担の考えでは長い人生を過ごすことは難しい。自分らしい人生の為に家庭・地域・社会の男女平等を理解できるようにする。 	<p>現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある 					14
	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。 ひとりで取り組むだけでなく、協働することの意義を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活をあらためて見直し、解決することを検討する。 具体的な解決方法を探り、実際に改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探ることができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 					13
	定期考査							1
2 学期	<p>【第7章 衣生活をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人はなぜ衣服を着るのか理解し、衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業労働、家事労働のそれぞれの労働についての現状、課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 職業労働、家事労働について、グループで話し合い意見を発表する。 	<p>衣生活の文化や、自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 					14
	<p>【第7章 衣生活をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 <p>【第2章 人生をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来、経験するであろう一人暮らしの賃貸契約、必要な条件などを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常着を製作する。 持ち家、賃貸住宅についてのメリット、デメリットを知り、将来の生活設計に役立つ様に理解する。 	<p>衣服製作実習を通して、材料の選択、日常の管理の方法を習得するとともに、基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の作成ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしのための賃貸物件を選ぶに当たり適切は判断が理解できる。 					13
	定期考査							1
3 学期	<p>【第9章 経済生活を営む】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活における経済と社会のかかわりについて学び、適切な家計管理について考える。 将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する 	<p>短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族に関する法律についての知識を身につけている。 家族、家庭生活に関する法律について関心をもち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。 					13
	定期考査							1